



龍門

題字は石野忠氏の揮毫

発行者
関東小山田会
 (鹿児島県加治木町小山田を愛する会)
 第11号
 平成27年11月発行

母校訪問 (運動会参加) の夢を叶えて



「母校訪問」を終えて

会長 二之方信良

今回は初めての企画でしたが、多くの会員のご参加とともに、とりわけ暖かくまた盛大にお迎え頂いた郷里の皆様のおかげで記念すべき催しになったと思います。

私も郷里を離れて50年近く、その間何度か帰郷することはあってもただ通り過ぎるだけのようなものでしたので、今回は本当に懐かしく楽しい旅でした。小学校の銀杏はもつと大きかった印象ですが、小さく思えるのも自分が年取ったせいでしょうか。

ご父兄や地元の方が一緒になった運動会も心がこもっていい良かったと思います。ただ、児童数が五十数名には少々びっくりしました。私が五年生までを過ごした湧水町の栗野岳分校が五十数名(複々式授業)だったことが懐かしく思い出されます。

これからもまたこういう機会ができましたら幸せなことだと思います。最後に、ご支援を賜りました皆様にあらためて感謝と御礼を申し上げます。



「故郷・母校訪問」を終えて

実行委員長 古江健一

地元小山田竜門校区の皆様は、優しく温かいおもてなしを受け、一方で「関東小山田会」の皆様方の規律のある行動・ご協力により

スムーズに運べたことと企画・実行に携わったスタッフの方々に厚く御礼申し上げます。

校区内観光のルート選択もいろいろ考えましたが、時間との制約があり決定しましたが、皆様が喜んでいらっしゃる様子に安心いたしました。翌日の、運動会では小学校・コミュニティ協議会の皆様は雨の中、無理して強行開催して頂いたのではと、深く感謝しております。クラスの仲間から「関東小山田会」の出場種目も検討したと聞かされ、本当に地域の皆様方が歓迎してくださったことに改めて心を打たれました。半世紀ぶりに運動場に立ち運動音痴の私には感慨深いものがあり、子供の頃が走馬灯のように流れていました。皆様が、童心に帰り一生懸命応援されている様子・また懐かしい同級生・知人が訪れご懇談されている場面を見て企画・実行できたことに自己満足でした。

参加者の皆様には母校への寄付をお願いしましたところ、予想をはるかに超える額が集まり、「母校竜門小学校」へ記念品として贈呈させていただきました。改めて感謝すると同時に心より御礼申し上げます。今回の行動を、きっかけとして「関東小山田会」のメンバーが増えることと、地元でも年代を超えた輪が広がることを願っています。

最後に、「小山田を語る会」「竜門校区コミュニティ協議会」「竜門小学校」の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、益々のご発展をお祈りいたします。

母校訪問参加者

カッパ内は
竜門小学校の卒業生

- 上 園 悟 (恩師)
- 荒瀬 睦子 (31)
- 石野 忠 (26)
- 伊東 和子 (23)
- 猪俣 東男 (32)
- 大村 紘子 (32)
- 斉藤 知子 (29)
- 新富 征人 (32)
- 藪田 豊 (23)
- 田口 キヨ子 (31)
- 竹下 親光 (32)
- 東木 浩一 (56)
- 堂免 紀子 (28)
- 堂森 由美子 (35)
- 中西 綾子 (31)
- 二之方 信良 (32)
- 福里 玲子 (32)
- 古江 健一 (35)
- 古江 美知子 (36)
- 前田 時春 (26)
- 前田 博 (31)
- 溝口 幹男 (23)
- 森 アツ子 (28)
- 森本 令子 (35)
- 西元 洋一郎 (38)
- 西元 羊子 (恩師夫人)
- 柚木 一征 (33)
- ※止む無く不参加となり
記念品代のみ参加の方
- 石川 フサ子 (36)
- 前田 信良 (26)

ふるさと周遊

平成27年9月26日
南州交通(株)のバスにて

★竜門小学校集合 出発：午後2時



★大井上神社参拝

大井上神社は、中世末の『加治木五社』のひとつで、文明18年(1486)11月21日付けの棟札には、加治木氏の一族でこの一帯の領主、小山田氏と思われる『藤原朝臣衆平』が、一族の武運長久・息災延命を祈願した趣旨が書かれている。

これが市指定文化財の大井上神社由来の墨書材である。

昭和12年に村社となり、昭和42年には、近隣の五つの神社を合祀して本殿を新築した。この際、神社に永年伝来してきた墨書のある建築材を町に寄贈、郷土館に保管された。

書かれてあることは、『豊臣秀吉が九州に侵攻してきて、これを島津勢が迎え撃ったが敗北し、島津の殿様は京都へ連れて行かれた。いったいこれからどうなるのかと心配していたら、しばらくして、殿様が無事帰国して、領国安堵ということになった。このことを感謝して神社を造る』という内容である。この頃、加治木の領主は島津配下の肝付氏であり、秀吉の侵攻と島津氏の敗北によって、小山田の人々が将来への不安やなげきが記録され、安堵の気持ちで神への感謝となつていくことが、なまなましく読み取れる。

また、四百年以上前の神社造営に携わった関係者や地域の人々の名前や年齢が、肩書きなどと共に記録されており、柄柱には、平清盛の末弟忠度や菅原道真の和歌が書き込まれている。非業の死を遂げた人間の怨霊・御霊(ごりょう)を鎮めて崇りを免れ、平穏と繁栄を実現しようとする御霊信仰が、修験や密教の影響を受けて行われていたことがわかり、今後の地域

史を研究する上で貴重な資料として加治木町指定文化財となった。

★小山田氏墓見学

(始良市指定文化財)

小山田地区の大井上神社の西側、小山田川の右岸の道路を少し上がった所に、昭和7年、蒲生町在住の小山田氏が修復された石塔が三つある。



向かって右側は五輪塔で、巨大な水輪とそれに乗せた地輪は昔のもののように、空輪、風輪、火輪は昭和7年に再造されたものものです。



中央と左側は宝篋印塔で、いずれも塔身の正面中央部には仏像が浮き彫りされている。右側は「明」に始まる女性の法名か。

左側には、「元亀元年庚午霜月」(1570年)の文字が読める。この石塔が建立された元亀の時期までは、小山田氏が、ここ小山田地区の徳永という集落一帯に勢力を保持していたこととなる。

■ 毎度久し振りに参加しました。今回の企画とても有意義だったと思いました。小山田氏のお墓が田んぼの真ん中に建っていたなんて初めて知りました。(町田市 堂免紀子)

★龍門司焼企業組合見学



龍門司焼企業組合は現在川原史郎氏が理事長を勤めている。この窯は県内でも薪を使う数少ない本格的な登り窯である。川原史郎理事長に、龍門司焼の歴史等について詳しく説明して頂いた。

★ 龍門司焼次郎太窯見学



龍門司焼窯の始まりである龍門司焼古窯は昭和39年に鹿児島県の重要文化財として指定され保存されている。この古窯の隣にあるのが次郎太窯である。現在は川原輝夫氏(二代目川原軍次)がその後を引き継ぎ平成14年に次郎太窯として再出発し、息子さん(輝朗氏)と伝統を引き継ぎ製作している。

見学当日、

参加者全員に記念の湯飲みをプレゼントして頂いた。



★ 高倉展望所(さえずりの森)

標高125mの高倉展望所からの眺めは絶景で、日中は桜島と錦江湾、夜は美しい夜景を見ることができます。



★ 龍門司坂を歩く



龍門司坂は、旧加治木町に残る古道です。旧大口筋の一部で、木田の高井田から毛上に通ずる石畳の坂です。薩摩と江戸を結ぶ主要街道で当時は旧街道が(加治木郷田滝く布越く五本松く本土ヶ原)あったが、これに代わる龍門司街道が出来た。1635年(寛永12年)このときはまだ現在見られるような石畳はなかった。



その後、1741年(元文6年)加治木の樋之迫から石を切り出し、

石畳舗装が始まった。全長千五百m余りであったが、現存しているのは四六四mが残っている。NHK大河ドラマ「翔ぶが如し」 「篤姫」の撮影にも使用された。国の文化財指定である。1996年(平成8年) 「歴史の道百選」にも選ばれた。地元の自治会や、加治木町の保存会等で年数回のボランティア清掃活動を行っている。



生まれ育った田舎の地で同じ小学校を卒業しました皆様とバスでなつかしい場所を廻り感動でした。育った近くにこんなにも素敵な場所があるなんて初めてすばらしいと思いました。私共を育ててくれた野山、小川、空気が、人々、おじいちゃん、おばあちゃんすべてに心より感謝する想いでした。次の日も小学校運動会に参加出来まして昔のなつかしい小学生時代の様子が思い出され、ごちそうを沢山作ってくれた母、父、一緒にたのしんだ兄、姉、お昼は家族一緒に輪に成ってごちそうをたべた思い出など70才に成り新たにためてよみがえらせていただき心より感謝です。関東小山田会の皆様とたのしい二日間をすごすこと出来ましたこと一生のすばらしい思い出に成りました。色々とお世話して下さいました方々に心より重くお礼申し上げます。又お会い出来ることを楽しみにしております。皆様もお身体に十分気をつけられましてお元気でお過ごし下さいませ。本当にありがとうございます。かしこ

(茨木市 福里玲子)

★龍門滝展望台

加治木町の名所・龍門滝です。高さ46m、巾43mのこの滝は平成2年4月に「日本の滝百選」に選ばれています。

昔、唐人がこの滝を称して「漢土の龍門の滝を見るのが如し」と言ったことから、龍門滝と呼ぶようになったと伝えられています。



◆◆◆◆◆
 ■ 郷里での関東小山田会開催、久しぶりに郷里の皆さんと、語らったり運動会に参加したり、楽しい、二日間でした。小山田氏墓所の有る事は知って居ましたが、何処に在るかは、今回初めて知り、小山田の歴史の深さを感じました。金山橋の景観の変わり様にも驚きました。初日の懇親会は少し時間が短く感じられましたが、全体の流れを考えるとやむを得ぬ事でしょう。二日目の運動会、六七年ぶりに運動場に立ちました。昔ながらの地区対抗や、子供達のリレーも皆さん、全体少人数の中、

盛り上げるのに一生懸命で、感無量でした。現在ではあたりまえの事でしようが、子供の数より、熟年の方が多いのにも寂しい思いと、申し訳ない思いで一杯でした。いづれにしても、寄る年波、良い思い出の機会を頂き、唯々感謝です。この計画に当たり、郷里でお世話下さいました、郷里の皆様方、お子様のご父兄の方々にも、心より御礼申し上げます。小山田の益々の発展を祈念申し上げます。

(所沢市 藪田 豊)



◆◆◆◆◆
 ■ 幼い頃、小山田から加治木の町へ下る時通った金山橋、古い古い歴史を想う龍門司坂、そして龍門滝を身のせまる場所で見ることが出来ました。私は小中学校は竜門でしたが、母の里が木田西ノ原で伊勢神社の門の右側にあり、この二つの道はよく通った所だったのです。しかしその歴史や謂れは知りませんでした。龍門滝も遠い西ノ原の祖母の縁側から見ていただけだったので近くで見られて「日本の滝百選」にも登場しているとの事、その美しき立派さに感動でした。夕刻、地元の方々との交流では当地の様子をあれこれビデオにて知る事も出来たり心尽くしの郷土料理や御菓子等を頂き懐かしさ一汐でした。

翌日の運動会は雨に始まりましたが、十一時頃にはその雨も止み連日練習に励まれた小学校の子供さん、中学生の協力もあり小山田を上げての行事に、途中退場する気にもなれず最後迄見入ることが出来ました。又、太鼓踊り迄見せて頂き感無量でした。男性ばかりの踊りでしたが私は大好きな物の一つです。昔は若い青年が美しく化粧され

★金山橋

明治12年頃、島津家が当時の加治木港(通称舌出し)を起点として山ヶ野金山に通じる道を開いた。



現在山ヶ野金山は閉山しているが、その間、三つの橋があり、長さ23m、巾4.2m、川床から約10mのアーチ型をしたこの石橋は、第一金山橋と命名された。上流の「板井手の滝」との景観が美しい橋です。



ガードレール無しの金山橋は改修され、その下の川も綺麗に整備されて川面から金山橋を眺められるようになっていました。



※参加者の皆様のコメント等を、順不同にて掲載致しますが、誌面の都合により、お礼の挨拶、言葉等を一部省略したり、または編集したりしています。原文のまま掲載できない場合があります。平にご容赦願いますようお願い致します。

(事務局)



■小生鹿児島へは三、四年振りの故郷訪問になりました。いつもとんぼ返りで小山田周遊、特に高井田の龍門司坂（小さい頃はダツモンザカと呼んでいました）は高校時代通学していたこともあり、懐かしさもひとしおでした。また龍門滝の雄大さ、一時農業用水用に水が利用されて岩肌が見えていたのを記憶していたのですが、今回は見違えるようでした。まだまだ故郷はいいものですね。

翌日の運動会、あいにく雨に見舞われましたが、なんとか小ぶりになり、児童たちの初々しさをみるに連れ子供時代が懐かしく想い出されました。良き思い出になりました事に感謝します。

(横浜市 竹下親光)

★陶夢ランド(交流会会場)



この「陶夢ランド」の場所は時代はさかのぼりますが、1610年ごろ、この付近に蹴上の庄屋(役場)があり、この庄屋裏に「龍門学舎」という今の学校みたいな教育をするところがあった。現在の芝生広場の中央付近がその跡地である。それから以降、明治初年(1878年)頃、新学制により小山田に出来た尋常小学校の名称はこの学舎名から取って新しい場所に「龍門小学校」が建てられた。と同時に「龍門学舎」は閉じられた。現在は「陶芸・健康の里」として広い芝生はグラウンドゴルフ場、子供たちの楽しい遊具があり、にぎわっている。



この施設は加治木町の施設であり、管理は委託事業で現在は「龍門司焼企業組合」がおこなっている。

この陶夢ランドに夕方5時に到着、引き続き夕方6時から多目的ホールにて竜門校区コミュニティ協議会と小山田を語る会との合同交流会が行なわれた。



※この小山田周遊は南州交通株式会社利用して、懐かしい小山田の各地を約3時間かけてのミニ旅行だった。南州交通様には、飲物等の差入れを頂き、また終了後、直ぐに御社のホームページに周遊の様子をアップして頂きありがとうございます。

※周遊した各地の説明等は、合同

交流会の第一部にて「小山田地区の名所・旧跡」の紹介をして頂いた、小山田を語る会の副会長上村和巳さんを隊長とするNPOボランティア団体「かぢき披露芽隊」のHPより転載させていただきました。



■先日は「母校竜門小学校訪問」に参加し色々とお世話になりました。学校関係者を初め竜門校区コミュニティ協議会、小山田を語る会そして関東小山田会実行委員会等のオールスタッフのあらゆる方々のご協力と心意気で行くとこ行く所感じました。本当に心からお礼を申し上げます。

初日は「ふる里周遊」の龍門司焼や各名所で故郷の色々な大切な伝統文化に触れ歴史にも触れることが出来て良い機会に勉強になりました。

翌日は第69回竜門小学校校区合同秋季大運動会の見学を致しました。運動会のスローガンがとても良かったですね！赤旗白旗 力を合わせて根性、根性、ど根性の精神で頑張った竜門小の卒業生は将来が楽しみです。私たちの時代の半世紀以上前になりますが11月3日の文化の日に小学・中学合同でした。私は見学と応援を一生懸命に楽しんで方でした。親兄妹はいつもレリーの選手でその日家に帰ると昔は賞品がいっぱいありました。私は参加賞のみで小さくなっていました。半世紀以上前を思い出しながら同じグラウンドで競技プログラムの中でホールインワンに出場いたしました。私はなんと一打目にホールインワンが出てラッキーでした。

半世紀以上に卒業した母校の運動会に兄妹揃って4人共に元気で見学出来た幸福は生涯の想いで宝物になると思います。

(山市原 森アツ子)



■今回の「小山田に帰る企画」で多大なるご苦労を頂きました故郷の沢山の皆様のご尽力に心から感謝致します。お陰様で大変楽しく貴重なひとときを過ごす事が出来ました。かつて、何度か帰郷した際には、仕事や雑用に追われ、日帰りで故郷を後にした事もありました。そこで今回は日程もしっかり余裕を取り、懐かしい故郷をゆっくり、たっぶり歩いてみる事にしました。

小山田、加治木は勿論の事ですが、肥薩線の大隅横川駅、嘉例川駅、そして霧島神宮と温泉郷、又、鹿児島市内の天文館通、甲突川沿いの薩摩藩士達の史跡群、美術館、懐かしの城山展望台「下りのみ徒歩でした」尚古集成館など、若いころは余り興味がなかった所にも足を運ぶ事が出来ました。

然しながら今回は余り天候に恵まれず雨の日がほとんど。雨男の悲しさか？予定より半分も回れなかったのも、再度機会を作り歩く予定に。然し、なんと最後の2日間はやっと快晴に恵まれて素晴らしい友人達「旧姓、東川内姉妹」とえびの高原、高千穂河原、生駒高原、そして初めて見た荘厳な曾木の滝を車で駆け巡り今回の旅は終了でした。

50年もの月日が流れると人も景色も随分と変わります。ただし、鹿児島弁だけは昔と変わらず「ここは鹿児島なんだ」としみじみ実感した10日間でした。

(千葉市 猪俣東男)

関東小山田会
竜門校区コミュニティ合同交流会
小山田を語る会

平成27年9月26日
於：陶夢ランド

第一部(ふるさと)

…BGMとして(平成15年頃の
小山田地区の活動映像が流れます)

一、開会の言葉
小山田を語る会 会長 西勇樹

一、来賓紹介・挨拶
始良市 副市長 大橋近義様

一、公民館の現状
竜門校区コミュニティ協議会
会長 東木義和

一、竜門小学校紹介・挨拶
竜門小学校 校長 中村秀文様

一、小山田地区の名所・旧跡
小山田を語る会 副会長 上村和巳

一、質疑応答

〔第二部に入る前に写真撮影を行います〕
第二部(再会と思い出)

一、乾杯
竜門校区コミュニティ協議会
事務局長 後藤典五

…BGMとして(平成16年頃の
小山田地区の活動映像が流れます)

一、小山田音頭の紹介
小山田を語る会 事務局長 溝口直充

一、小山田音頭のCD贈呈
小山田を語る会 副会長 上村和巳

一、お礼のこトば
関東小山田会 会長 二之方信良様

一、閉会 関東三本締め
実行委員長 古江健一様

以上





■皆様と楽しいひとときを過ごさせて戴きこの年になっても学生時代にカンパックした気持ちになつてうれしかったです。有難うございました。

(横浜市 伊東和子)



■小山田訪問をしてから1ヶ月近く経ちました。本当に早いですねこの季節は稲刈りの手伝いに毎年帰ってますが、実家と空港の往復だけで変わりばえのない里帰りでしたが今回、このような機会に恵まれ、参加させていただ



きました。運動会、小山田を語る会では、小山田について沢山知らない事を教えていただいて、勉強になり、童心に帰る日々の生活を忘れて楽しんでしまいました。又、このような集まりがありましたら、参加させていただきたく思っております。今回は本当にありがとうございました。

(東京・足立区 堂森由美子)



■楽しかった帰鹿の旅、あつと言う間の二日間、竜門小学校の運動会、知っている子供や大人達がいないので、少しだけどうなのかしら?と思つて居りました。何んと何んと、すごく楽しく、



■記事を楽しみにしています。また、今回の帰省についての感想等と言う事ですが、実行役員の方では出来る限りの事は出来たのではないかと思います。役員以外の方の感想が気になりますね。

(東京・足立区 東木浩一)

また太鼓踊りは雨がちらついたので、正装ではなかったですが懐かしく観覧させていただき舞いの方々が小・中・高校生の生徒さんがいらしてこれから少しずつ続いて行くんだなと感動致した次第です。小山田氏の墓、どこにあるのかも知りませんでした。龍門司焼きの始まり、次郎太窯での記念の湯呑み、大切に使用させていただきます。又龍門司坂、初めて下りました。昔の人の手で石を並べて道にするすごいです。何かを感じながら語らいながら歩くのって素敵でした。子供の頃は、ただ先を急ぐのみでしたので。小山田の方々の交流会・運動会での手厚いおもてなしに深く感謝、益々の小山田のご繁栄をお祈りしお礼申し上げます。関東小山田会の皆様とも、もっと親しく絆が増した二日間でした。

(朝霞市 森本令子)



■楽しみにしていました故郷小山田会、大井上神社を始め、湯呑みのおみやげ、思いもしなかった龍門司坂を歩く事も出来又なつかしい方々にもお目にかかれ、何十年振りの運動会、童心に戻り楽しみ、又肩たたきまでしてもらい感動しました。たくさんの思い出が出来ました。有がとうございました。

(横浜市 荒瀬睦子)



■小山田の名所旧跡を訪ねて、小山田氏墓・茶碗屋・龍門司焼等々たくさん歴史・名所の有る所とは小山田に生きていながら知りませんでした。また地元の方々の心温まる歓迎に心打られました。これもお世話準備して下さいました方々のお蔭様でただ感謝感謝でした。雨の中での運動会、大変でしたが子供さん達の可愛い演技に気持ちがお和みしました。ただ風邪をひかれたのではと心配でした。本当にたくさんさんの思い出ありがとうございます。出席させて頂き良かったです。

(市川市 田口キヨ子)



■朝夕めっきり冷え込み、野山は紅葉の真最中、楽しみにしていた故郷訪問もすでに一ヶ月が経とうとしています。初日、バスで小山田名所巡り、目の中に入ってくる山並み田園風景、夜の懇親会での団欒、二日目の運動会、鹿児島弁が飛びかう中、人々の顔、言葉の響き全てが懐かしく、それに小山田の方々のおもてなしに又感動し、とてもステキな交流と思いが出来ました。これも事務局の皆様のご協力の下、素晴らしい企画と地元小山田の皆様方との連携とご努力の賜物と心より感謝申し上げます。又、来年の企画も楽しみにしています。

(御殿場市 大村絃子)



■関東小山田会に初参加でしたが、和やかな雰囲気の皆様方の仲間に加えていただき嬉しかったです。故郷とはいもいなあと、改めて感じたり、懇親会では地元の方々の活躍を目の当たりにしたりして、感激と感動をいただいた一日でした。

小学校運動会参加の企画も素晴らしいかったです。雨の中で子供たちの頑張っている姿に心が熱くなりました。また、ゲームに参加させて貰い、すっかり童心に帰り、半世紀前とオーバーラップした自分がいました。とにかく、地元の方々本当に頑張っていました。んなだなあ・・・思わず我が身を振り返り・・・苦笑

故郷の皆様方の温かいおもてなしに感謝するとともに企画して頂いた役員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます。

(草加市 古江美知子)



第69回竜門小学校・校区合同秋季大運動会

| 開 会 式 | |
|-------|------------|
| | 入場 8:45~ |
| 1 | 開会宣言 |
| 2 | 国旗・市旗・校旗掲揚 |
| 3 | 優勝旗返還 |
| 4 | 開会のあいさつ |
| 5 | 誓いの言葉 |
| 6 | 競技上の注意 |
| 7 | 運動会の歌斉唱 |
| 8 | 準備運動 |
| 9 | 退場 |



■ 関東小山田会創立以来の夢「竜門小学校の運動会への参加」が実現し、役員の皆様ならび受入れに奔走していただいた・竜門校区コミュニティ協議会・小山田を語る会の皆様には心から御礼を申し上げます。
 上杉鷹山公の「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉を今回ほど実感したことはありません。まさに「ふるさととは有難きかな」です。ふるさと小山田の復活を心から願って止みません。
 (東久留米市 石野忠)

| | | |
|----|--------------|---------|
| 1 | 応援合戦 | 応援団 |
| 2 | 短距離走 | 3・4年 |
| 3 | 短距離走 | 5・6年 |
| 4 | かけっこ | 1・2年 |
| 5 | チャンスは3回 | 1~6年保護者 |
| 6 | 新入児かけっこ | 新1年生 |
| 7 | ゆっくり急いで | 各地域 |
| 8 | 親子仲良く | 6年親子 |
| 9 | ♥きみに会えてよかった♥ | 1・2・3年 |
| 10 | 関東小山田会の皆さん紹介 | 関東小山田会 |
| 11 | ホールインワン | 各地域・来賓 |
| 12 | 家族リレー | 希望者 |
| 13 | 心を合わせて一歩ずつ | 各地域 |
| 14 | 龍門ソーラン節 | 4・5・6年 |



朝起きたら、なんと予定外の雨急遽、体育館で開会式、応援合戦を行う。やっと小降りになるのを待って10時頃、中学生をはじめ地域の方々総出でグラウンドの修復作業にとりかかる。



■ 母校の運動会に参加して

戦後70年の節目に母校の小学校での運動会に関東小山田会の一員として参加が出来た事は本当に素晴らしい出来事でした。母校竜門小学校始まって以来の一大イベントだったのでではないでしょうか？トラックも昔のままです。変わったのは校門の位置ぐらいで、昔を思い起こすのに足るものでした。雨の中の運営はさぞかし大変な思いがあったと思われまふ。人口減少のなか地元皆さんの心遣いがいっぱい詰った競技に大拍手で応援させて頂きました。若い人が少ない中、ヤングパパの皆さんが奔走して下さいおもてなしの心を痛い程感じて、この先も地元の繁栄のために御活躍されることを祈りながら感謝のお手紙とさせて頂いていただきます。私個人としましては従姉のキヨ子さんに60年振り位の再会でした。同級生も福元節子さん、上枝セツ子さん、川越ひろ子さんと集まって来て下さり再会を喜び合いました。懐かしく嬉しい一時でした。

ありがとうございます。第一回があれば次があるのかな？

(宇治市 斉藤知子)



■ 今回の小山田訪問は実に楽しいものでした。「さえずりの森」以外は遙か昔より有ったものばかりですが今回訪れて改めて感じたことは、こんなにも素晴らしい焼物や滝や清流の有る土地であったのか、との思いである。竜小の運動会も児童達の一生懸命な姿に声援を送っていた。鈍足であった自分はいつもドンジリかブービー賞の記憶しかないのですがね。今回の行事を企画し実行された幹事の方々に御苦労様でしたと御礼申し上げます。

(千葉市 前田時春)





小雨の中、正装できなかつたが、懐かしい太鼓踊りを披露していただいた。



小山田公民館の二階のお座敷で、皆さんいっしょに「さくらの会」特製のお昼のお弁当を頂いた。始良市市役所職員の小山田会（湯川忠治会長）から薩摩揚げ等の差し入れをいただきました。また、以前当会の会員で現在、蒲生町在住の森山道壯様からは、ミカンをお持ちいただきました。今回、関東小山田会の地元窓口として面倒をみていただきました犬童照幸様からは、龍門堂のかじきまんじゅうを配っていただきました。



■関東小山田会イベント、六十周年振り返りに、雨の中での運動会、子供達の頑張っている姿を見て、自分達の頃を思い出し懐かしく楽しませてもらいました。お蔭様で二日間楽しませてもらい感謝しています。

(東京・足立区 溝口幹男)





| | | |
|--------------------|---------------------|--------|
| 15 | 始 良 音 頭 | 全児童 |
| 16 | 小 山 田 音 頭 | 全児童・一般 |
| 昼食 (12:00~13:00) | | |
| ☆ 12:50~太鼓踊り ☆ 抽選会 | | |
| 17 | 宝 さ が し | 高齢者・一般 |
| 18 | 全 力 投 球 | 1・2・3年 |
| 19 | とべ!!H2Aロケット | 4・5・6年 |
| 20 | 地 域 対 抗 綱 引 き | 各地域 |
| 21 | 紅 白 対 抗 綱 引 き | 全児童 |
| 22 | 中 学 生 全 員 リ レ ー | 中学生 |
| 23 | 応 援 合 戦 | 応援団 |
| 24 | 下 学 年 紅 白 全 員 リ レ ー | 1・2・3年 |
| 25 | 上 学 年 紅 白 全 員 リ レ ー | 4・5・6年 |



掲載された南日本新聞 (10月5日) の朝刊

2015年(平成27年)10月5日 月曜日 南 日 本 新 聞

みなみネット kagoshima local network

運動会の競技に笑顔で参加する関東小山田会のメンバー
—始良市の竜門小学校



始良市加治木町小山田の竜門小学校出身者でつくる「関東小山田会」の28人が9月27日、同小運動会に参加した。数十年ぶりに母校を訪れた人も多く、懐かしい景色を楽しみながら、懸命に競技する子どもたちに温かい拍手を送った。

運動会で古里満喫

関東の加治木 竜門小出身者ら 懐かしい景色 旧友との再会

同会は約1000人。今年4月の総会で「親がおらず、墓もなく古里に帰る機会がない。きっかけをつくってほしい」との声が上がった。地元に関するところ、運動会参加が持ち上がり、地域活性化ボランティア団体「小山田を語る会」や竜門校区コミュニティ協議会が協力し実現した。現在児童は計56人で、運動会は校区合同で開

前日には、マイクロバスで校区内を巡り、夜は地元住民らとの交流会があった。二之方信良会長(70)は「変わったもの、変わっていないものがある、懐かしい。子どもたちの頑張る姿に元気をもらった」。古江健一副会長(67)は「年を重ねると、望郷の念が強くなる。歓迎してもらって感謝している。こうした機会を今後も設けられたら」と話した。

関東小山田会は、会員を募集している。事務局の柚木一征(かずさ)さん(44)は1iss@441@yahoo.co.jp (山下博行)



16時に無事、全種目終了

| | |
|-----------|------------|
| 閉 会 式 | |
| 入場 15:10~ | |
| 1 | 整理運動 |
| 2 | 成績発表 |
| 3 | 優勝旗授与 |
| 4 | 参加賞授与 |
| 5 | 閉会のあいさつ |
| 6 | 校歌斉唱 |
| 7 | 国旗・市旗・校旗降納 |
| 8 | 万歳三唱 |
| 9 | 閉会宣言 |

● 乗れなかった!

千載一遇のチャンス

関東小山田会・会報10号に「第15回 関東小山田会総会を終えて」の記事と同時に、「9月26日に母校の小学校訪問」の企画と参加者募集の「お知らせ」案内が掲載されていました。

迷う事無く申し込みのハガキを投函すると同時に飛行機の予約とホテルの予約も済ませました。さらに9月初旬には藤沢市に在る恩師・本山彦一先生のお墓を訪問して近況と龍門小学校の運動会に参加する事などを報告しました。

ところが、トコロガです。9月中旬のある朝、突然の嘔吐と腹痛に見舞われてどうしようもなく行きつけの総合病院に行き救急室に駆け込み、実情を訴えました。その時も嘔吐と腹痛は継続していました。早速、腹部のX線検査、採血検査、MRI、上部内視鏡など一連の検査が続きました。総合検査の結果は「腸管蠕動低下」と「逆流性食道炎」の診断が下され、治療は絶食から始まり、点滴と自身の蘇生力に頼りながらの状態、あれこれの予約の取り消しに追われました。完治して退院の日を迎え、ふり返って見ると3週間を経過していました。日常の健康管理に留意して、次回の母校訪問企画を楽しみにしております。

(おこたます市 前田信良)



● 五年ぶりに帰郷して

今回の五年ぶりの帰郷は、加治木町龍門の幹事の教子サンから「古希になったので、僕等は最後の同窓会になるだろうから、是非参加しろ」との連絡を受けたのです。古希を迎えた教子

子さん達二十六名の同窓生が、加治木駅近くの料亭七八(ナツパ)に参集しました。然し他界した学友が六名もあり、そのすべて男子と言う報告に皆ビックリしました。集まった学友の中には、鹿児島島の植物について二十冊以上の各専門書を発行している者・土地の植物を生かして加治木饅頭を販売している者・踊りのお師匠さんをしてる者等など、土地に生きてる教子さん達も多くいて何故かホーツとしました。内緒話ですが、低学年を亡き家内が担任していたので(退職後上京)万感胸に迫る閉会でした。そして、元気な教員は僕だけだと聞いて、責任を痛感させられました。

元気でいなくては!

まだマダ 八十七歳ジャ! この人と人との交わりが、不老不死の妙薬かな?と思ったりしています。有難う皆さん! 東京オリピックまでは、先祖伝来の直立二足歩行でキバイモンデ宜しくお付き合いの程タノミヤゲモンドー!

(東京・杉並区 上園 悟)



● 今回の「故郷訪問」の企画実行に大満足しております。

10月5日の南日本新聞に掲載「竜門小運動会が故郷満喫」で全ての記録が残り本当に感謝しています。

27日運動会の終わった夜は、加治木駅近くの「七八」にて、竜門小卒業の同級生の同窓会を犬童照幸さんに企画実行していただきました。恩師の上園悟先生(東京在住)を囲んで県外在住者は二之方会長を含め7名参加、総勢28名、懐かしいメンバーで飲み語り合いました。

26日午前中は、加治木高校訪問、先生の許可をいただき思い出の校庭を散策、この後「加治木郷土館」訪問、館長と会話、郷土館で加治木の歴史を改めて視察しました。茨城県在住の犬童秀孝氏の曾祖父「犬童英輔氏」明治10年の西南戦争に参戦した時の伝家の宝刀「正宗」を寄贈されていました。残念ながら宝刀は「研ぎ」に出ていて見ることが叶いませんでした。

28日(月)犬童照幸さんを囲んで鹿児島国際CCでゴルフを堪能しました。(敷根中同級生2名の仲間)この日の夕刻の飛行機で帰途に着きました。本当に思い出多い故郷訪問記となりました。

(川崎市 新富征人)

原稿募集中!

あなたからの原稿を募集しています。徒然なるままにエッセイ等、小山田の思い出、最近の状況、旅の思い出等何でも結構です。ご投稿をお待ちしています。写真等を添えて頂くと助かります。

下記へお送りください。
〒225-0021 横浜市青葉区 すすき野 2-4-1-103 (編集担当) 柚木 一征

編集後記

長い間、温めてきた「母校訪問」の企画、4年前の会報6号の編集後記、また2年前の会報8号の編集後記にて、密かに「母校訪問」の思いを訴え続けてきたが、そろそろその夢も萎えかけた今年の春の総会で少々イレギュラーかなと思われるような発言が飛び出し、これを機に加速度的に話が進展することとなった。

今までの構想を元に、地元の方々との連絡を重ねた上で、臨時の役員会を開催したのが5月30日だった。この席で出席者全員の見解を得て企画実行を決め、現地集合・現地解散と言う形の有志者による「母校の運動会に参加」の参加者を募った結果、29名の参加の意志表示を得ることができた。その後、具体的な検討に入り、2回目の実行委員会を7月18日に開催し、詳細な実施案についての承認を得た。

8月のお盆期間中、暑い中地元へ帰り、皆様との打合せを重ね、小山田の全家庭に回覧にて周知して頂けることとなり、また地元小山田の実情を見て回り、大きな収穫を得た思いで8月29日に3回目の実行委員会を開催して、計画が順調に推移し地元の皆様の全面的な協力のもと実行が目前に迫っていることを報告できた。

無事に終了したいま、感謝の思いで一杯である。短期間の内に慌ただしく、最小限の打合せ等で実行した割には大きな成果を得られたような気がする。このことは、地元の方々への献身的なご協力を得られた賜物に他ならない。この成功の陰に、多くの方々の努力があったことを忘れてはならない。この結果が・・・この経験が・・・今後の関東小山田会、そして地元小山田にどのような影響を及ぼしていくのか、我々の生き方を問われているようだ。種を蒔いたら、自ずと水を与える義務が生じる!

事務局 柚木一征

第16回

関東小山田会総会・懇親会

平成28年4月23日(土)

12時~15時 開催予定

場所: 三州倶楽部

東京都品川区上大崎 1-20-27

電話: 03-3447-6776

いつもの場所です

3月初旬、ご案内を差し上げます